

2021年3月期 決算説明会

2021年5月21日
シダックス株式会社
(JASDAQスタンダード：4837)

1.決算概況

	(百万円)		
	前期	今期	差異
	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	今期－前期
売上高	129,585	110,148	▲19,437
売上総利益	17,030	13,075	▲3,955
(売上総利益率)	(13.1%)	(11.9%)	(▲1.3%)
営業利益	1,102	690	▲412
(営業利益率)	(0.9%)	(0.6%)	(▲0.2%)
親会社株主に帰属する純利益	▲ 1,123	630	+1,753

注:本資料の数値は、小数点以下切捨てによる計算となっております

2.2021年3月期ハイライト（通期）

＜上期ハイライト＞ ＊2020年11月20日の決算説明会においてご報告済み

- カラオケ事業売却に伴う追加損失の最終決着
- 顧客ニーズに応える事業別営業体制への組織変更
- 学童保育事業の飛躍的成長の継続
- ノンコア事業を切り離し、現金創出と純資産の底上げ
- 新型コロナウイルスへの対策進捗

＜下期ハイライト＞

- フードサービス事業 : オフィス・キャンパス店舗の大幅な落ち込みを、徹底した休業店舗等の人員の再配置による原価圧縮施策を行い収益を確保
- 車両運行サービス事業 : 車両運行において車内の「密」を回避すべく、臨時便の増加により収益を確保
- 社会サービス事業 : 学童保育事業における延長保育の対応により収益を確保
- 開示セグメントの変更
- 調布センター売却等の低稼働資産のキャッシュ化
- HQの再構築と販管費の徹底削減
- ESG／SDGs推進活動

2021年3月期 決算説明会（詳細）

開示セグメントの変更

当グループは、第3四半期より、報告セグメントを従来の「コントラクトフードサービス事業」「メディカルフードサービス事業」「トータルアウトソーシング事業」「エスロジックス事業」の4つから、再成長戦略「Re-Growth」を推し進める中で、「フードサービス事業」「車両運行サービス事業」「社会サービス事業」の3つのセグメントに変更いたしました。

【旧セグメント】

(単位：百万円)

セグメント		2020年3月期 通期業績	2021年3月期 通期業績	前年対比
コントラクトフードサービス事業	売上高	27,259	20,954	△ 6,305
	営業利益	915	52	△ 862
メディカルフードサービス事業	売上高	30,871	30,303	△ 568
	営業利益	928	828	△ 100
トータルアウトソーシング事業	売上高	49,756	54,160	4,404
	営業利益	2,856	2,931	74
エスロジックス事業	売上高	32,614	26,516	△ 6,097
	営業利益	2,153	1,632	△ 520
コンビニエンス中食事業 ※	売上高	13,517	-	△ 13,517
	営業利益	△ 0	-	0
その他	売上高	5,233	2,903	△ 2,330
	営業利益	△ 644	△ 904	△ 260
消去又は全社	売上高	△ 29,667	△ 24,689	4,978
	営業利益	△ 5,105	△ 3,849	1,255
連結	売上高	129,585	110,148	△ 19,437
	営業利益	1,102	690	△ 412

【新セグメント】

(単位：百万円)

セグメント		2020年3月期 通期業績	2021年3月期 通期業績	前年対比
フードサービス事業	売上高	59,335	51,686	△ 7,649
	営業利益	3,672	2,247	△ 1,425
車両運行サービス事業	売上高	22,022	21,156	△ 865
	営業利益	1,508	1,556	47
社会サービス事業	売上高	27,735	33,034	5,298
	営業利益	1,394	1,421	26
コンビニエンス中食事業 ※	売上高	13,517	-	△ 13,517
	営業利益	△ 0	-	0
その他	売上高	9,512	5,774	△ 3,738
	営業利益	△ 400	△ 697	△ 296
消去又は全社	売上高	△ 2,537	△ 1,503	1,033
	営業利益	△ 5,071	△ 3,836	1,234
連結	売上高	129,585	110,148	△ 19,437
	営業利益	1,102	690	△ 412

※2020年3月期第4四半期連結会計期間において、「コンビニエンス中食事業」を単独で営んでいたシダックスアイ(株)を連結の範囲から除外したことにより、2021年3月期第1四半期連結会計期間より「コンビニエンス中食事業」を報告セグメントから除外しております。

開示セグメントの変更

(セグメント変更の理由)

- ・コントラクトフードサービス事業・メディカルフードサービス事業に関して、意識的にこれら事業の経営資源を共有して今後の事業展開を図ることが、顧客拡大・サービス改善の点からも利点が多く、将来の成長に結びつくことから、「フードサービス事業」として一体経営・管理していること。
- ・エスロジックス事業におけるグループ内への食材物流機能を「フードサービス事業」に含め、一体として新たに経営・管理していること。
- ・トータルアウトソーシング事業に含まれていた「車両運行サービス事業」は、アウトソーシングの流れそのものは変わらないものの、新型コロナウイルスの感染拡大により社会経済活動が縮小し、民間企業における業績の悪化や、移動機会の減少といった日々変化する状況の中での対応力が求められる中、今後の事業展開を図るにあたり「社会サービス事業」とは別々に経営・管理していくことの重要性が高まっていること。
- ・また、「社会サービス事業」において、学童保育事業がコロナ禍の中でも特に大きく受託件数をおのぼしており、事業としての重要性が高まっていること。

1.決算概況

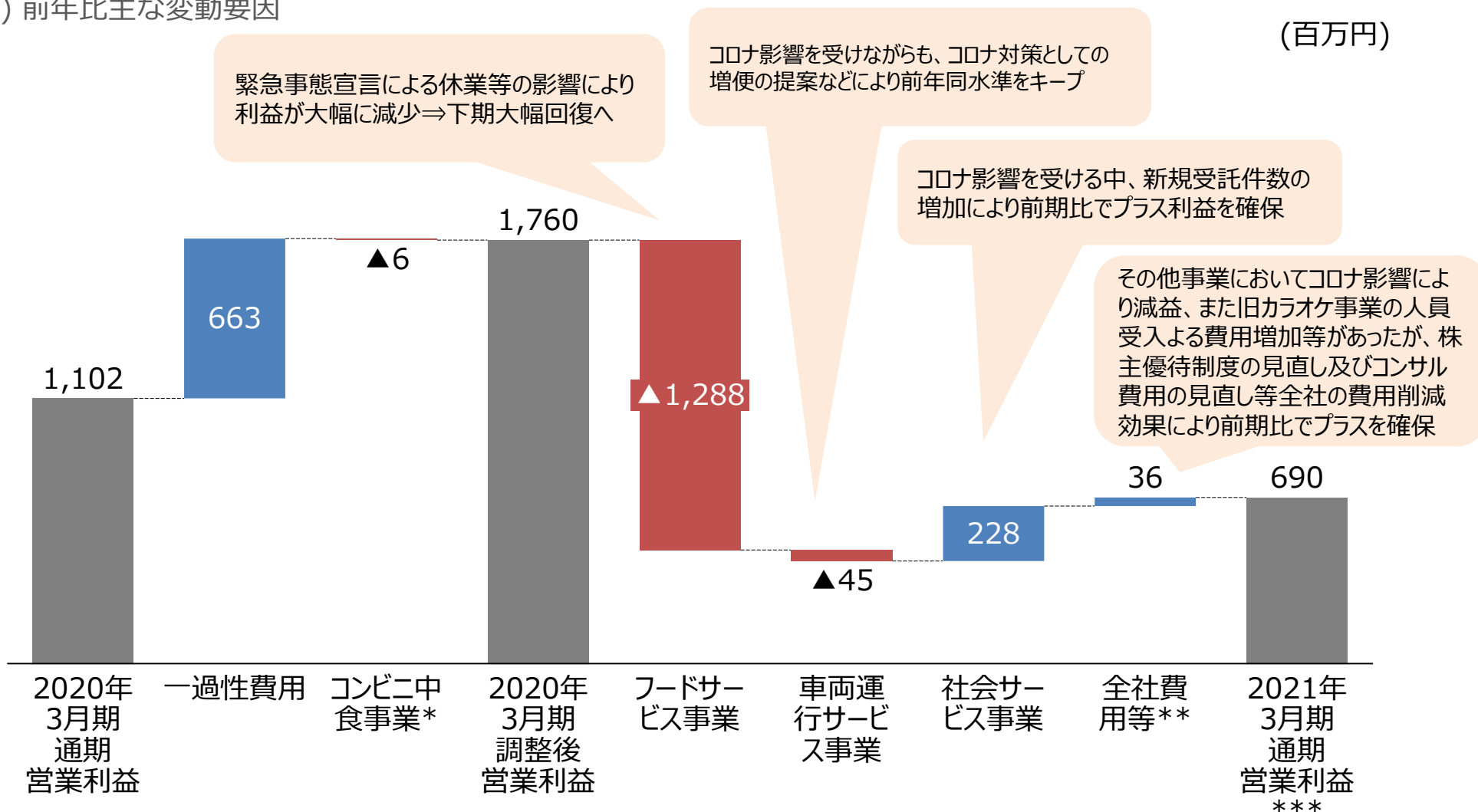
(a) 連結業績実績

	(百万円)		
	前期	今期	差異
	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	今期－前期
売上高	129,585	110,148	▲19,437
売上総利益	17,030	13,075	▲3,955
(売上総利益率)	(13.1%)	(11.9%)	(▲1.3%)
営業利益	1,102	690	▲412
(営業利益率)	(0.9%)	(0.6%)	(▲0.2%)
親会社株主に帰属する純利益	▲ 1,123	630	+1,753

1.決算概況

(b) 前年比主な変動要因

(百万円)



* コンビニ中食事業は前期売却済み

** 全社費用等はその他事業と全社、セグメント間消去の合算

*** 営業体制の組織変更による影響については、変更前の旧セグメントでカウントした

尚、上記要因や前期の一過性費用の調整によりAppendixのセグメント別数値と一致していません

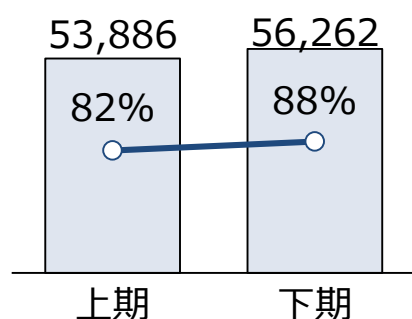
1.決算概況

(c) 上期・下期

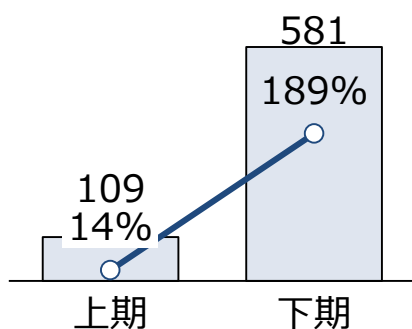
—○— 前年同時期比 ■ 金額 (百万円)

連結

売上高



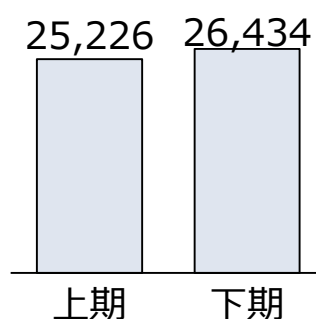
営業利益



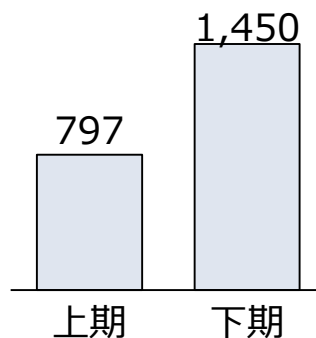
上期・下期比較で増収増益となる。
利益については主にコロナ影響を強く受けていたフードサービス事業の回復によるもの。

フードサービス事業

売上高



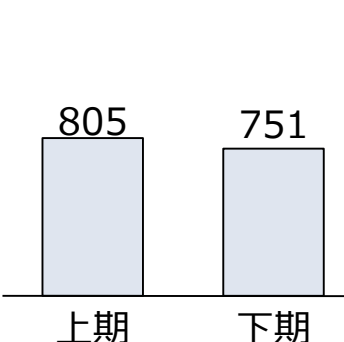
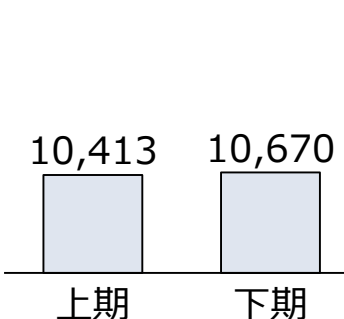
セグメント利益



上期は緊急事態宣言による休業等の影響により利益が大幅に減少。
下期はスタッフの再配置や労働シェアを行うことで大幅に利益改善。

車両運行サービス事業

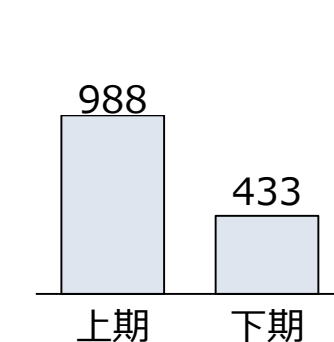
売上高



コロナ影響を受けつつも、通勤手段としての車両移動や、「密」を避けるためのバスの増便などを提案し利益を確保。
下期の営業利益の微減は季節要因によるもの。

社会サービス事業

売上高



主力の学童保育・児童館等において、多くの新規現場の獲得につながり増益。
下期は来期スタートの新規受託先を大量獲得したことに伴うオープン準備費用などが増加。また、万全なコロナ対応に伴う消耗備品購入費の増加。

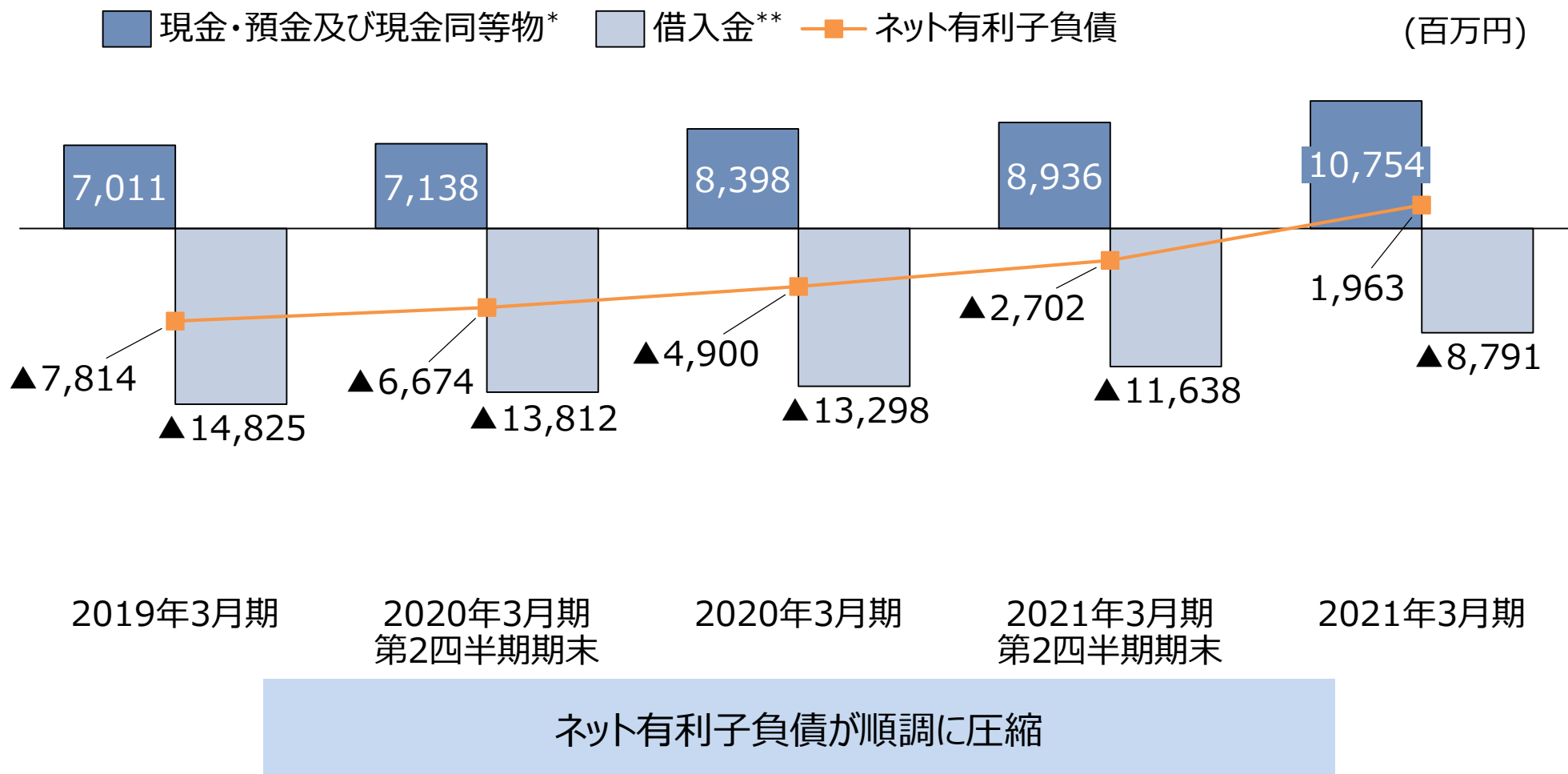
2.財務状況（連結ベース）

(a) 連結財政状態計算書（B/S）関連指標

	2020年3月期 年度末	2021年3月期 年度末	(百万円) 前期年度末比
資産	38,084	39,913	+1,829
純資産	7,107	7,520	+413
有利子負債残高	13,298	8,791	▲4,507
ネット有利子負債	4,900	▲1,963	▲6,863
D/Eレシオ(倍)	1.87	1.17	▲0.70
ネットD/Eレシオ(倍)	0.69	▲0.26	▲0.95
現金及び現金同等物の期末残高	8,398	10,754	+2,356

2.財務状況（連結ベース）

(b) 現預金・借入金残高



* 新型コロナウイルス感染症の影響による社会保険料・消費税の納付猶予を含む

**借入金：短期/長期の借入金及びリース債務の合計値

A red decorative graphic consisting of two curved, overlapping shapes that resemble a stylized flame or a wing, positioned to the left of the section header.

2021年3月期 Appendix

1.決算概況

(a) 累計セグメント別業績サマリー

(百万円)

		2020年3月期	2021年3月期	
		通期実績	通期実績	前年対比
フードサービス事業	売上高*	59,266	51,660	▲7,606
	セグメント利益	3,672	2,247	▲1,425
車両運行サービス事業	売上高*	21,948	21,083	▲864
	セグメント利益	1,508	1,556	+47
社会サービス事業	売上高*	27,693	32,996	+5,303
	セグメント利益	1,394	1,421	+26
コンビニエンス中食事業**	売上高*	13,487	-	▲13,487
	セグメント利益	▲ 0	-	+0
その他	売上高*	7,189	4,407	▲2,781
	セグメント利益	▲ 400	▲ 697	▲296
連結消去等	売上高*	+0	+0	+0
	セグメント利益/営業利益	▲ 5,071	▲ 3,836	+1,234
連結合計	売上高*	129,585	110,148	▲19,437
	営業利益	1,102	690	▲412

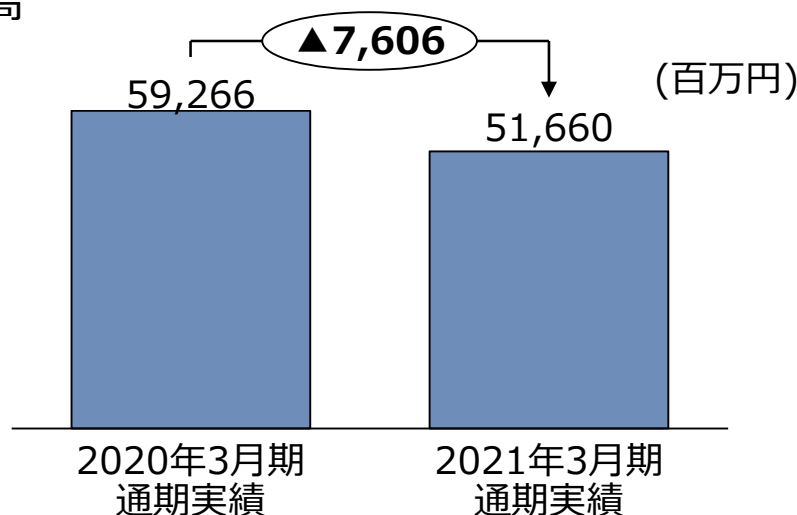
* 売上高は外部顧客に対する売上高

** コンビニエンス中食事業は前期売却済み

2.セグメント別業績

(a) フードサービス事業

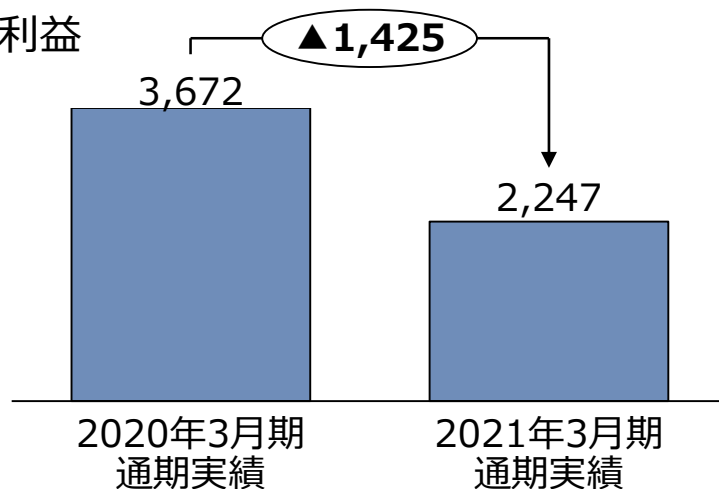
売上高



【売上高】 7,606百万円の減収

- (+) 保育給食分野において新規営業の堅調な進捗により店舗数が純増
- (-) 4～6月の緊急事態宣言の影響で上期は施設の休業・営業縮小が多発するも下期は多くの施設で売上が回復。ただし一部の施設ではリモートワークやオンライン授業等の普及で喫食者の減少が継続
- (-) コロナ過の不透明な先行き見通しに対応した施設閉鎖が増加

セグメント利益



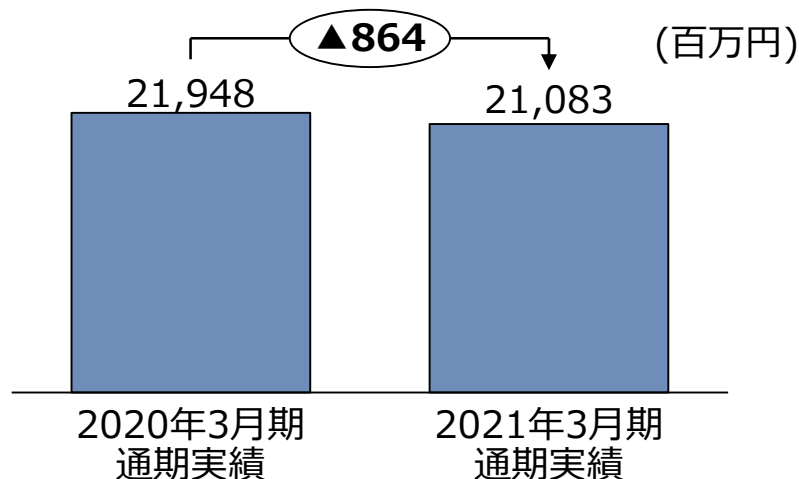
【セグメント利益】 1,425百万円の減益

- (+) 大幅赤字店の撤退、顧客企業との条件交渉による店舗運営体制の再構築、セグメント間での人的リソース移転による赤字幅の圧縮
- (-) 4～6月の緊急事態宣言の影響による売上減少に伴い上期は利益が大幅減少したが、下期は売上回復と赤字店対策により利益が大幅に回復

2.セグメント別業績

(b)車両運行サービス事業

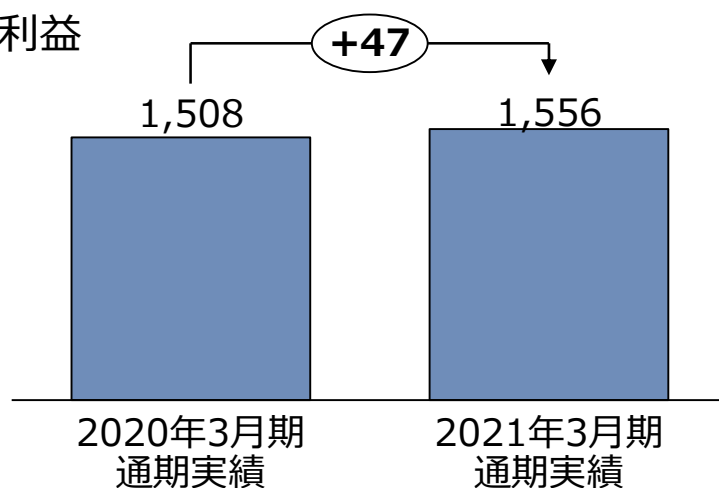
売上高



【売上高】 864百万円の減収

- (+) コロナ禍による「密」を避けるための増車及び臨時便により、旅客運送部門の売上増加
- (-) 緊急事態宣言による4月～6月の役員車両部門の売上減少及び一般車両部門も運休・減便が発生し上期は大幅売上減少も下期は徐々に回復基調

セグメント利益



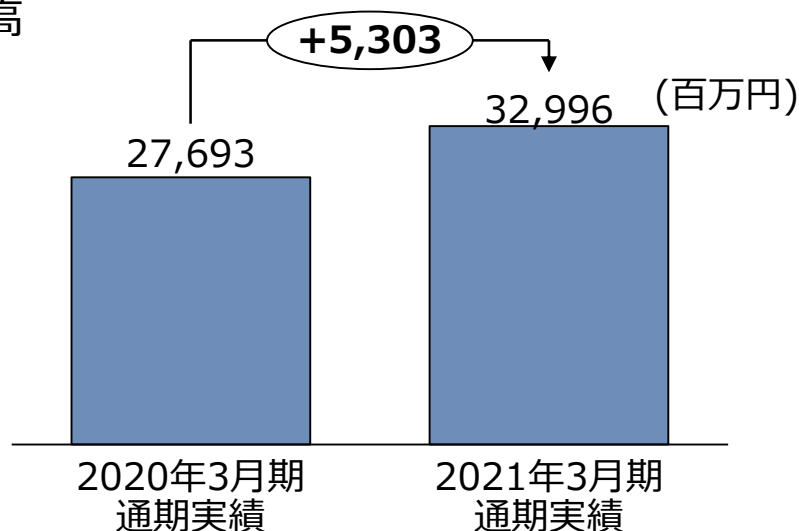
【セグメント利益】 47百万円の増益

- (+) 既存現場の値上げ、運転士の配置調整及び燃料費の削減や自動車保険の解約により一般車両及び旅客運送部門は利益を確保
- (-) 緊急事態宣言による4月～6月の役員車両部門の売上減少による利益減少が大きかったが、下期は徐々に回復基調

2.セグメント別業績

(c)社会サービス事業

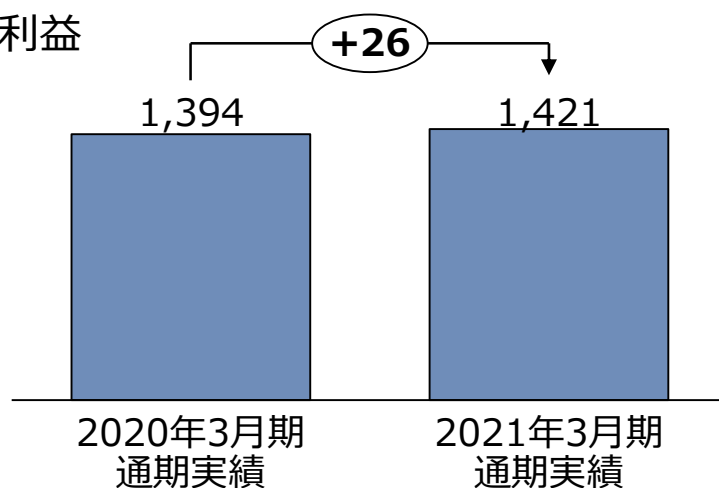
売上高



【売上高】 5,303百万円の増収

- (+)学童保育は新規477ヶ所のオープンによる売上増加、
およびコロナ禍での緊急開所要請に対応し売上増加
- (+)学校給食も新規60ヶ所オープンにより売上増加
- (-)コロナ影響による観光施設の休業及び客数減による売上減少

セグメント利益



【セグメント利益】 26百万円の増益

- (+)学童保育は新規477ヶ所のオープンによる利益増
- (+)学校給食は新規受託施設増による利益増
- (-)主要観光施設の休業及び客数減による利益減少を
下期増額契約によりカバー

3.データ集

セグメント別店舗数推移表

2019年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コナラフトサービス	増加		10	3	0	1	0	7	21	0	2	2	4	2	3	34
	減少		11	8	8	2	4	4	37	4	3	4	2	5	13	68
	残	1,212	1,211	1,206	1,198	1,197	1,193	1,196	1,196	1,192	1,191	1,189	1,191	1,188	1,178	1,178
フードサービス事業 メディカルフードサービス	増加		17	0	2	1	4	1	25	3	1	2	0	2	2	35
	減少		0	5	4	1	1	2	13	6	8	0	4	2	24	57
	残	730	747	742	740	740	743	742	742	739	732	734	730	730	708	708
車両運行サービス事業 管理台数	増加		90	30	16	24	14	20	194	34	7	9	4	8	11	267
	減少		109	19	25	11	17	4	185	27	6	4	8	13	8	251
	残	3,498	3,479	3,490	3,481	3,494	3,491	3,507	3,507	3,514	3,515	3,520	3,516	3,511	3,514	3,514
社会サービス事業 管理人員	増加		1,385	13	36	208	46	2	1,690	81	4	4	23	27	1	1,830
	減少		462	12	106	65	45	58	748	72	18	11	15	4	1	869
	残	8,719	9,642	9,643	9,573	9,716	9,717	9,661	9,661	9,670	9,656	9,649	9,657	9,680	9,680	9,680

2020年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コナラフトサービス	増加		24	2	4	0	1	2	33	4	5	2	2	1	6	53
	減少		9	7	7	4	3	5	35	3	0	4	1	13	29	85
	残	1,178	1,193	1,188	1,185	1,181	1,179	1,176	1,176	1,177	1,182	1,180	1,181	1,169	1,146	1,146
フードサービス事業 メディカルフードサービス	増加		17	2	0	1	2	0	22	5	1	1	0	0	0	29
	減少		3	8	3	4	0	5	23	0	2	1	1	1	13	41
	残	708	722	716	713	710	712	707	707	712	711	711	710	709	696	696
車両運行サービス事業 管理台数	増加		99	10	9	17	5	21	161	18	7	7	7	10	1	211
	減少		71	11	7	15	11	9	124	23	16	3	0	4	0	170
	残	3,526	3,554	3,553	3,555	3,557	3,551	3,563	3,563	3,558	3,549	3,553	3,560	3,566	3,567	3,567
社会サービス事業 管理人員	増加		1,262	0	26	69	48	9	1,414	79	2	1	0	0	6	1,502
	減少		290	30	9	15	59	3	406	24	4	4	2	0	16	456
	残	9,680	10,652	10,622	10,639	10,693	10,682	10,688	10,688	10,743	10,741	10,738	10,736	10,736	10,726	10,726

2021年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コナラフトサービス	増加		16	5	2	1	2	2	28	2	0	0	0	12	5	47
	減少		3	2	2	6	1	2	16	7	6	7	10	7	36	89
	残	1,146	1,159	1,162	1,162	1,157	1,158	1,158	1,158	1,153	1,147	1,140	1,130	1,135	1,104	1,104
フードサービス事業 メディカルフードサービス	増加		25	0	0	4	1	0	30	2	2	4	3	2	3	46
	減少		0	0	3	0	1	0	4	0	1	0	1	1	15	22
	残	696	721	721	718	722	722	722	722	724	725	729	731	732	720	720
車両運行サービス事業 管理台数	増加		176	13	10	16	14	20	249	19	10	13	4	8	7	310
	減少		128	15	6	17	11	5	182	34	12	23	18	4	14	287
	残	3,567	3,615	3,613	3,617	3,616	3,619	3,634	3,634	3,619	3,617	3,607	3,593	3,597	3,590	3,590
社会サービス事業 管理人員	増加		4,213	281	1,189	133	345	285	6,446	419	209	232	109	230	1,370	9,015
	減少		1,221	139	228	240	169	200	2,197	147	151	187	131	149	1,048	4,010
	残	10,726	13,718	13,860	14,821	14,714	14,890	14,975	14,975	15,247	15,305	15,350	15,328	15,409	15,731	15,731

A red decorative graphic element consisting of a stylized, curved shape that resembles a flame or a wing, positioned to the left of the main title.

2021年3月期 ESG・SDGs推進活動

ESG・SDGs推進活動

17の開発目標

- 企業が追求すべき社会性は、SDGsとして17の開発目標が示されているが、当社の事業領域は社会性が高い上に、多くの社員・顧客・パートナー企業を抱える企業形態のため、他社と比べても能動的に取り組める目標が多い

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ESG・SDGs推進活動

取り組み実績のご紹介① シダックス（総合研究所）

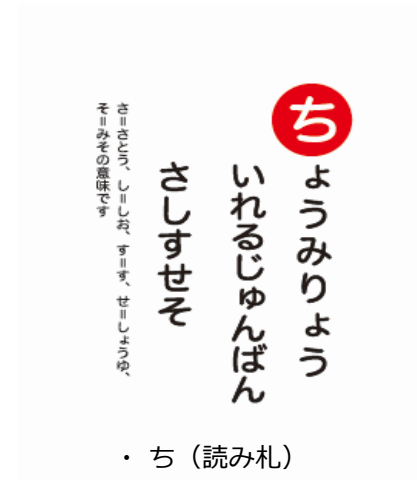
- ・ 会社設立60周年を記念して、公式食育キャラクター「モグちゃん」を使用した食育かるたを制作
- ・ フードサービス事業が受託する保育園・幼稚園及び社会サービス事業が受託する学童保育施設、全国およそ1,200カ所に無償提供
- ・ 「食」「こども」と日々向き合う当社だからこそ実現可能な社会貢献活動



・ パッケージ画像



・ ち（絵札）



・ ち（読み札）



・ モグちゃんイラスト



・ 中伊豆ワイナリー登壇時



・ こどもたちとのふれあい

ESG・SDGs推進活動

取り組み実績のご紹介② シダックス大新東ヒューマンサービス（学童保育事業）

- ・ 現地在住ガイドとリアルタイムでつなぐ “ リモート海外旅行 ”
- ・ コロナ禍でも、こどもの視野を広げようという教育的なイベント
- ・ 夏休み期間、学童保育受託施設およそ150カ所で実施
- ・ 第2弾を小学校の冬休み・春休み期間に全国22自治体、300カ所の学童保育受託施設で実施



・ リモート海外旅行（ポリビア・アマゾン地域編）の様子①



・ リモート海外旅行（ポリビア・アマゾン地域編）の様子②



・ リモート海外旅行（ハワイ編）たびのしおり



・ リモート海外旅行 配信の様子（イメージ）

ESG・SDGs推進活動

取り組み実績のご紹介③ 大新東（旅客運送事業）

- ・ 環境に対する取り組みとして、国内初となる従業員送迎バスに水素を活用した次世代型燃料電池バスの導入して2020年6月より、東京・有明地区にて運行開始致しました
- ・ 年間20トンのCO2削減につながると試算されている次世代型燃料電池バスは、大容量外部給電システムを備えており、災害時には電源としての活用も可能です
- ・ 車両運行サービス事業のトップランナーである当社ならではの取り組み



・都内の企業の従業員送迎用に2020年に導入した「次世代型燃料電池バス」

A red decorative graphic element consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the slide.

2021年3月期 トピックス（下期）

2021年3月期下期 トピックス①： フードサービス事業

郷土料理の提供で、コロナ禍でも旅行気分を ～「完全調理品」で現場負担の軽減や廃棄物・水利用削減効果も～



* 「完全調理品」調理加工が不要な食品

コロナ禍で、旅行や観光などの自粛が求められる中、少しでも旅行気分を味わって頂きたい企画として「全国郷土料理うまいもの紀行」を提案致し、昨年、約580カ所の老人福祉施設などで提供した「九州・沖縄編」は、大変ご好評を承りました。第2弾として「北海道編」を開催させて頂き、北海道では定番の、“ザンギ”や“スープカレー”の他、給食では珍しいラム肉を用いた“ジンギスカン”やアイヌ料理の“ラタシケブ”（煮物・和物）などを提供させて頂きました。全品が「完全調理品^{*}」を使用しております。喫食者様にお楽しみいただけ、現場負担（調理作業）も軽減され、さらには、**廃棄物・水利用削減効果**も得られています。

2021年3月期下期 トピックス②： 社会サービス事業

学童保育の受託件数が1,300件（教室）を突破 ～新型コロナ禍でも柔軟に対応しつつ、コンテンツも

シダックス大新東ヒューマンサービスが受託運営する

学童保育の件数が2021年4月1日時点で

1,300件を突破致しました。

昨年、好評裡に終了した「リモート海外旅行」に続き、

この3月からは、東京大学のクイズサークル出身で、

メディアでも活躍する 松丸亮吾氏 の監修による

「ひらめけ！ナゾキバトル」を約1,100教室で展開しており

現在も、コンテンツを拡充しております。

放課後の児童の居場所を確保するニーズは根強い一方、

「公設民営」という社会的なトレンドも追い風となり、

2022年には昨秋時点の約2倍となる2,000件の受託を

目指しています。



「ひらめけ！ナゾキバトル」には
松丸亮吾さん自身が出演。子どもたちも大喜び。

将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、シダックスグループの財務情報および経営情報の提供を目的としたもので、当社が発行する株式の購入、売却および投資アドバイスを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任、判断のもとになされますようお願いします。
- 本資料に掲載されている事項には、当社に関する将来予測や業績予測が記述されていますが、将来の業績を保障するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。
 - ✓ 災害/外部犯罪による企業活動不能リスク
 - ✓ 食中毒/感染症/アレルギー/異物混入によるリスク
 - ✓ 人身/物損事故によるリスク
 - ✓ 役員/従業員の負傷/疾病/死亡によるリスクや雇用/人事における人財確保に向けた採用リスク
 - ✓ 社内不正/犯罪の突発的発生によるお客様や取引先への影響リスク
 - ✓ 契約/法令違反による業務執行停止リスク
 - ✓ 不正アクセス、サイバー攻撃等による知的財産及び個人情報を含む機密情報の漏洩リスク
- 本資料に掲載されている事項または、本資料を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。また、予告なしに情報の掲載中止や変更を行うことがあります。

すべては未来の子どもたちのために



